



地域と『つながり合う』授業実践

2 他校との交流 「学校間交流」

実践グループ：病弱訪問 わかくさ学級

好きな香りを選んでバスボムを作って
プレゼントしました。

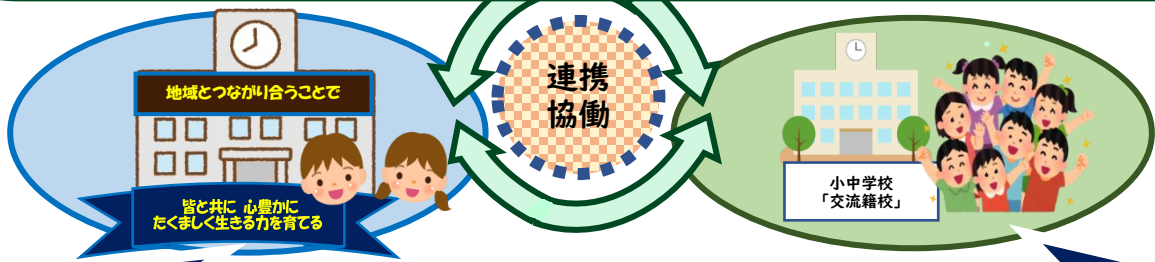


農業高校生が9か月かけて大事に育てたお花の紹介をしてもらいました。

zoomを使って
の交流の様子



6月に行ったレター交換！質問に対してメッセージを沢山くれました。



児童生徒にとっての価値

共通の授業内容である「植物の栽培」をテーマに交流することで苗植えの方法や管理の仕方、活用方法を知ることができた。

また、自分のコミュニケーション手段で関わったり、「関わる人」や、「リモートによるやりとり」等、いつもと違う雰囲気を感じたりすることができた。

地域にとっての価値

「園芸、地域ふれあい」の授業の一環で、相手への伝え方や、方法を考え実践し、本校の生徒とのコミュニケーションが通じたときの達成感を感じていた。

『つながり合う』POINT！（地域支援連携課から）

互いに頑張って作ってきたことの発表やプレゼントを通して交流をすることにより、「凄い」「ありがとう」「嬉しい」という気持ちを伝え合うことができ、互いに達成感を感じることができました。

また、コロナ禍で、本来であれば外出の許可がおりた高等部の生徒しか交流ができない予定でしたが、オンラインで行うことで、ベッドサイドの生徒や小中の生徒も一緒に交流を行うことができました。どこにいても、誰とでも『つながり合える』良さがありました。

直接会って交流することはかないませんでした。オンラインを利用する等、交流の仕方を工夫することで、『つながり合う』ことはできると分かりました。